

植物多様性センターの「ハンゲショウの夏化粧」

湿生林エリアの川沿いにハンゲショウが白く群生している姿が目にとまります。ハンゲショウは花が咲く時期になると、茎の上部の葉が白くなります。葉が白くなることで昆虫を誘引する効果があります。「ハンゲショウ」の名前は夏至から11日目にあたる「半夏生」の頃に花が咲き、葉が白くなることからきているそうです。また、葉の表面だけ白くなることから「半化粧」と書く場合もあるそうです。開花の時期が終わると葉の色は緑に戻ります。



ハンゲショウの群落



白く変色した葉



ハンゲショウの花序



雌しべは4個に分かれ、雄しべは6個ついている